

宝物はすぐそばに

校内研通信

第25号

R7.11.14

発行者:校内研担当 仲村智

漢字の「口」とカタカナの「口」は相似?見た目で判断できる?

11月14日(金)5校時、3年3組にて平良聖子先生が数学の授業を公開しました。本時のねらいは、三角形の相似条件を利用して2つの三角形が相似かどうかを判断することです。本授業は、聖子先生の中堅研課題研テーマにもなっている「単元内自由進度学習」の授業でした。めあてや既習事項の確認を導入して済ませた後、生徒は各々の計画のもと、自分の選択した学習方法や場所(廊下で一人学習もOK)で学習を進めていきます。個別・ペア・タブレット・教科書などを使い、時には先生に教えてもらう選択もしながら、バラバラのように見えて実は皆が単元のゴールを目指しているという、これぞ「単元内自由進度学習」という授業で個人的にとっても勉強になりました。教師側の先を見通した計画・教材準備、とても大変かと思いますが、聖子先生のそのチャレンジ精神、頭がさがります🐼 課題研究も頑張ってくださいね。素敵な授業をありがとうございました。



自由進度学習は魔法のような方法ではない。「自由に進めていいよ」は、学びの自由を保障する言葉であると同時に、「放任」へと転じる危険性が常にある。「自由に進めること」それ自体が目的ではなく、「どのように学ぶか」を子どもが意識できるように教師が支援する必要がある。決して子どもに丸投げする学びではなく、子どもの学びを深めていくためのファシリテーターとしての教師の存在が大事🐼

一緒に学ぼう
自由進度学習

その2

右の実践事例を参考に自分なりの「自由進度学習」チャレンジしてみよう。

